

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年2月12日 (2016.2.12)

【公開番号】特開2015-107381(P2015-107381A)

【公開日】平成27年6月11日 (2015.6.11)

【年通号数】公開・登録公報2015-038

【出願番号】特願2015-45419(P2015-45419)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月18日 (2015.12.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 識別情報および第 2 識別情報の可変表示を行い、遊技者にとって有利な特定状態に制御可能な遊技機であって、

遊技の進行を制御する遊技制御手段と、

前記遊技制御手段から送信されるコマンドにもとづいて、第 1 識別情報の可変表示と第 2 識別情報の可変表示とに対応した演出識別情報の可変表示を実行可能な演出制御手段と

、
未だ開始されていない可変表示を、上限数を限度に保留記憶として記憶する保留記憶手段とを備え、

前記遊技制御手段は、

前記特定状態に制御するか否かを決定する決定手段と、

前記決定手段の決定結果にもとづいて、演出識別情報の可変表示パターンを、複数種類の可変表示パターンのうちから決定する可変表示パターン決定手段と、

有利条件が成立したときに、可変表示を所定回数実行するまで、非有利状態と比較して少なくとも第 2 識別情報の可変表示が実行されやすい有利状態に制御する有利状態制御手段とを含み、

前記可変表示パターン決定手段は、前記有利状態に制御されているか否かに応じて、異なる割合により可変表示パターンを決定し、

前記決定手段の決定より前に前記特定状態に制御されるか否かを判定する判定手段と、

前記判定手段の判定結果にもとづいて、特定予告を実行する特定予告実行手段とを備え

、
前記特定予告実行手段は、
前記有利状態が終了した後の前記非有利状態において実行された可変表示の実行回数が前記保留記憶手段によって記憶可能な上限数となるまでの期間において、前記特定予告の実行を制限し、

前記特定状態中および前記有利状態中において、第 1 識別情報の可変表示に対する前記特定予告を実行せず、

前記特定状態に制御される割合が異なる複数種類の前記特定予告を実行可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、第1識別情報および第2識別情報の可変表示を行い、遊技者にとって有利な特定状態に制御可能なパチンコ機やスロット機、パロット機などの遊技機に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【特許文献 1】特開 2004-129984 号公報

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は、遊技者の期待感を損なうことなく予告を行うことができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明による遊技機は、第1識別情報および第2識別情報の可変表示を行い、遊技者にとって有利な特定状態に制御可能な遊技機であって、遊技の進行を制御する遊技制御手段と、遊技制御手段から送信されるコマンドにもとづいて、第1識別情報の可変表示と第2識別情報の可変表示とに対応した演出識別情報の可変表示を実行可能な演出制御手段と、未だ開始されていない可変表示を、上限数を限度に保留記憶として記憶する保留記憶手段とを備え、遊技制御手段は、特定状態に制御するか否かを決定する決定手段と、決定手段の決定結果にもとづいて、演出識別情報の可変表示パターンを、複数種類の可変表示パターンのうちから決定する可変表示パターン決定手段と、有利条件が成立したときに、可変表示を所定回数実行するまで、非有利状態と比較して少なくとも第2識別情報の可変表示が実行されやすい有利状態に制御する有利状態制御手段とを含み、可変表示パターン決定

手段は、有利状態に制御されているか否かに応じて、異なる割合により可変表示パターンを決定し、決定手段の決定より前に特定状態に制御されるか否かを判定する判定手段と、判定手段の判定結果にもとづいて、特定予告を実行する特定予告実行手段とを備え、特定予告実行手段は、有利状態が終了した後の非有利状態において実行された可変表示の実行回数が保留記憶手段によって記憶可能な上限数となるまでの期間において、特定予告の実行を制限し、特定状態中および有利状態中において、第1識別情報の可変表示に対する特定予告を実行せず、特定状態に制御される割合が異なる複数種類の特定予告を実行可能であることを特徴とする。そのような構成により、遊技者の期待感を損なうことなく予告を行うことができる。